

神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙 <第 166 号>

神奈川イグレンニュース

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）
発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：宗和 正憲
〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 7 F
TEL 045-228-7331 FAX 045-228-7331 (TEL 兼用)
<http://www.kanagawa-iguren.com>

2016年9月号



【 今月のコンテンツ 】

- 神奈川イグレンご案内 1、2、
- イグレン会員グループ・プロジェクト状況 3、4、5
- お知らせ 5
- 産学官交流サロンコーナー／事務局コーナー 6

【 神奈川イグレンご案内 】

イグレン広報 宗和

イグレンが新しいグループづくりを行うという事で昨年の 10 月より説明会&意見交換会を行っていたこの会もゲストやスピーカーをお呼びして様々な角度から進めています。

9 月 14 日（水）に行われた会合ではスピーカーとして公益財団法人神奈川産業振興センター（KIP）事業部経営支援課主査、中小企業診断士の浜野厚太郎氏をお招きしドイツミッションの報告をしていただきました。

KIP では年に 2 回～3 回企業とアテンドし海外ではどのような形態で経営をしているのか、また国民性やその他状況を確認し企業の活動に活かしていく事が出来るよう応援するというミッションのもとで、活動をしているそうです。こうした KIP の行うミッションに関しては補助金が出るようですのでご興味がある方は KIP の状況を確認してみてください。

公益財団法人神奈川産業振興センター（KIP） ホームページ http://www.kipc.or.jp/about_kip/

今回はアテンド企業を伴い 7 名でのドイツを視察。シュトゥットガルト、アーヘン、フェアル、ベルリンと移動する中、様々な企業を訪問したそうでドイツの教育システムの特徴、Dual System とマイスター制度、産業立地面に与える影響、ドイツ式経営について、インダストリー 4.0 についての報告がありましたので皆様にお伝えします。

<ドイツの教育システム>

ドイツの小学校は4年生（10歳で終了）。11歳から将来の進路を見据えた教育が開始されるとの事。教育義務は15歳まで。小学校を卒業すると大きく分けて進路が3つあり、ギナジウムという大学進学を主に目指す学校と基幹学校という職人を養成するための学校、技術学校というその中間の学校に分かれるようです。基本的な考えとして学術教育と職業教育を同時に進めるシステムで構成されているのが特徴です。ちなみに進学率はギナジウム31%、基幹学校27%、技術学校26%だそうです。基幹学校では後述のDual Systemにより18歳の時点で一定の労働水準力が確保され経営現場に提供される仕組みになっており、その指導はマイスター資格を持った熟練工が行うとの事。

<Dual System とマイスター制度>

Dual System とはドイツを発祥とする『高等職業能力資格認定制度』の事。

マイスター資格は高等職業訓練校の修了者に付与される資格で不保持者は独立開業が出来ない職業もあるくらいで現在約170の職種でマイスターが存在するらしい。一旦、マイスターの資格を取得すると大学卒業（学士）と同等と扱われ職業大学院修士課程への受験資格を得る事が出来、Dual System で指導が可能となるそうです。マイスター制度は技術承継だけでなく、職人の社会的地位向上、そして学術と実務的知識の双方向性に寄与している。ドイツでも高齢化による若者の雇用が経営上の問題となっているようでDual System に選ばれない企業は将来のマイスターがいなくなり淘汰される運命にあると言う。若者や従業員を大切に、成長意欲の高い経営を行う企業を支援する仕組みが国家レベルで確立されている。中小企業であってもDual System とマイスター制度がうまく機能していれば遠地から若年労働力を確保できるのであえて都心に出る必要もないらしい。

<産業立地目面に与える影響><ドイツ式経営について>

立地面からみた場合、系列に依存しておりそこからなかなか脱却が出来ず、技術的問題に時間を要し資金が枯渇、あるいは市場への参入機会を逃してしまうという事もあるようだ。福利厚生やアメニティーが置き去りにされているケースもある。成長性と利益率を重視する我が国の考えとは少し異なる。

ドイツには大学のほかに研究機関も数多く存在し、これらの機関がいくつかのグループ（研究所群）を構成している。中でも産学連携に特化しているシュタインバイス財団は中小企業の技術コンサルティングを目的に1971年に設立されたもので研究開発、評価、人材教育・訓練の4活動とコンサルティングを行っている。会社の運営に税金を一切投入しないのが特徴。大学教授にも勤務時間の2割以内の兼業が認められているとのことである程度個人の自由が認められている。財団は市場のニーズに応じて拠点を新設、閉鎖を行っています。

<インダストリー4.0>

2011年にドイツで提唱された政策で、製造業の競争力を維持・強化するために生産効率の高い「スマート工場（考える工場）」を実現するのが目的。ドイツ南部のアンベルクのシーメンスの工場では工程の無人化により生産は8倍になったという。「無人」であれば工場の途上国への移転も抑制できるという考えも成り立つ。産業機械におけるデジタルデータの共有化、人の手を使わない遠隔医療、ウォーターポンプシステムという水道管のメンテナンスなど無人化の動きを見せている。職人を養成するマイスター制度に反するかもしれないが将来の人材不足を見越しての戦略らしい。ドイツでは「高齢化・人口減少社会によるエンジニア減を見据えて、官民を挙げて国家体制を構築しているのだ。

<まとめ>

ドイツの教育システムは優秀な若年労働者を市場に供給する仕組みが構築されており、マイスターを得れば大学で教授を取ること、研究所で働くことも出来る。所得面や社会的評価でチャンスもある。こうした仕組みは競争力のある中小企業の育成に貢献するだけでなく、地方（田舎）の活性化にも貢献している。中小企業に技術移転をする機関が多数あり、中小のものづくり企業のイノベーションを支援している。インダストリー4.0は生産効率が高い「考える工場」を作るための仕組みであり、ITを使える環境があれば中小でも導入できる。これの導入に成功した企業の生産性は大幅に向上する。

こうした官民の連携がとても大切なのではないかとの事でした。

文責：宗和

尚、次回の会合の日程につきましては後日改めてご案内しますのでよろしくお願い致します。

企業経営者を始め行政に携わる方や県OB、会員の方がお越しになられています。懇親会としておつまみとドリンクをご用意してざっくばらんに語らっていますので皆様是非お越しください。

相手のビジネスを応援するその先にビジネスチャンスあり！！
自分達で新グループを立ち上げよう



「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)レポート

イグレン事務局 松井利夫

第 44 回フォーラムは平成 28 年 8 月 25 日に開催。初めに、芝さんから、「ものづくり支援 1000 億円」という見出しの新聞記事に関して説明があった。内容は、経済産業省・中小企業庁が 2016 年度第 2 次補正予算案に盛り込むものづくり補助金を含めた「地域未来投資促進事業」の予算規模が 1001 億円となるというものです。「ものづくり補助金」は、2015 年度補正予算時と同様のメニューをそろえ補助上限額最大 3000 万円で実施する。今年 7 月に施行した「中小企業等経営力強化法」とも組み合わせ、経営力向上計画の認定企業に対しては審査で加点されることなどの説明があった。

(株)シーエー社の松井さんから、蓄光式避難誘導標識に用いられている高硬度石英成形板を利用して表札作りについて説明があった。その他、T 工務店を通して横浜市の新庁舎で避難誘導標識を設置してもらえないか折衝中であるとのこと。

メンバーから、コストが高いと聞いているが、何が高いのか、との質問に対して松井さんからは、外部から購入する天然石英が高いとの説明があった。

石川さんからは、自社の工事関係資材に関係があるリニア新幹線の工事について説明があった。リニア新幹線は品川から名古屋までの 70%がトンネルであり、J R 東海が 100%自己資金で工事を行っているとのこと。

鶴野さんからは、先日、森さんが登戸で行っている有機水耕栽培の様子を見学してきたので感想を述べられた。森さんは、理論的に取り組まれて、系統だった手法で野菜を育てておられる。感銘を受けた。これをビジネスにどのようにして展開していくのか難しい問題である。13,000 円の会費で 300 人を集めるといふ事業を行おうとしているが大変であると話された。更に、水耕栽培を本格的に取り組む場合は、関連するもの(あるいは異業種など)との連携や複合を視野に入れた事業展開が必要かもしれないとの考えを述べられた。森さんからは、家庭栽培が出来る場所を借りて、それを提供してあげることになっているとのこと。次に、鶴野さんから、毎年秋に開催しているスターリングエンジン講演会が今年は第 10 回目となる。開催は 10 月 27 日(木)で、バイオマスの権威で日本木質バイオマスエネルギー協会会長の熊崎実先生と NPO バイオマス産業社会ネットワーク理事長の泊みゆき氏を迎えて都道府県会館で開催しますとの紹介があった。

伊藤さんからは、フィリピンに河川・冠水警報装置を 9 月から 12 月にかけて設置することになったことなどの説明があった。

【 イグレン会員グループ・プロジェクト状況 】

【第 176 回 日韓ビジネス協議会】

高橋 導徳

1. 日時：2016年9月21(水) 午後3時30分～5時15分 協議会 その後～6時15分 交流会
2. 場所：神奈川県中小企業センタービル 6階 特別研修室
かながわ異業種交流センター（神奈川県異業種連携協議会）TEL：045-228-7331
3. 次第：
 - 会長挨拶・・・・・・・・瀧澤 清氏
 - 会社紹介：一般社団法人 スマートシニアビジネス倶楽部 リーダー 石野田 五十鈴氏
・現役を引退したシニア人材の再就職を斡旋する会社です。（20分程度）
 - 韓国訪問報告：光陽湾圏経済自由区域庁からの招待で韓国を訪問された。
(株)成誌社 代表取締役 石橋健一氏 （20分程度）
 - メイン講師：元日韓産業技術協力財団 常務理事 山崎 弘氏
タイトル：日本の寺・韓国の寺について
要旨：日韓両国の歴史・文化・美術に影響を与えている仏教の世界、寺院および国宝・寺宝について紹介。また世界の宗教の歴史、分布俯瞰、現在日本の仏教が抱える問題点についても紹介される。（45分程度）

異業種交流会シフト21 【<http://shift21.jimdo.com/>】

< 2016年10月定例会 >

有村 智恵

- 日時 2016年10月11日(火) 定例会 18:30～ 懇親会 20:30～22:00
- 場所 横浜都筑ビジネス&コミュニティ 横浜駅前オフィス セミナールーム
横浜市神奈川区鶴屋町2-21-1 ダイヤビル303
(今回から場所が変わりました！ 横浜駅徒歩4分)
- プログラム
 1. 講演 ”萩生田弘” 式ポジティブ人生
 - ・52年間の人生の中で起こった数々危機に、どのように対処してきたのか
 - ・ポジティブ&諦めないは最強の武器！株式会社内田洋行 オフィスエンジニアリング事業部マーケットリサーチ担当
萩生田 弘様 (当会員)
 2. 話題提供 株式会社プリズムゲート 芝田弘美様 (当会員)
今回からの新企画。会員からテーマを投げいただき、参加者でディスカッションします。
- 参加費
定例会 / 初回参加の方 無料、2回目・3回目 1,000円、4回目以降 4,000円
懇親会 / 初回参加の方 1,000円、2回目以降 実費 (3,000円程度)

異業種交流会シフト21とは

シフト21は平成8年から活動している異業種交流会です。
多彩な経営者・起業家が集い、外部講師による講演や会員のプレゼンなどで
研鑽を図りながら、ビジネスに繋げる交流を図っています。
お問合せ・お申込みは事務局・有村まで。shift21info@gmail.com

【NPO法人 C&S経営支援協会】

NPO理事長 松井利夫

「中小企業等経営強化法」の説明会開催のお知らせと「創業スクール」開催の予告

先月号で「中小企業等経営強化法」説明会を8月29日(月)に開催いたしますお知らせしましたが台風接近のため延期しました。参加申込された方にはご迷惑をお掛けして申し訳ありませんでした。改めて下記の要領で説明会を開催いたしますのでご案内します。

なお、当NPOでは、11月16日(水)に「創業スクール」を開催します。内容は、創業者の体験談、ビジネスプランの作成と創業に役立つ知識などの説明、更に、相談会も開催します。詳細は来月号でお知らせします。

記

「中小企業等経営強化法」の説明会

1. 開催日時 平成28年9月20日(火) 15:00~17:00
2. 会場 神奈川中小企業センタービル 6階 特別研修室
3. 対象 中小企業経営者・管理監督者 (中小企業支援者もどうぞ)
4. 受講料 無料
5. 講師 中小企業診断士 松井利夫

(詳しくは添付しました開催案内をご覧ください)

【申込・問合せ先】 NPO C&S 経営支援協会 TEL/FAX : 045-845-1566
toshio_matsui@mve.biglobe.ne.jp
申込はFAX : 045-228-7331 でも結構です。

【 お知らせ 】

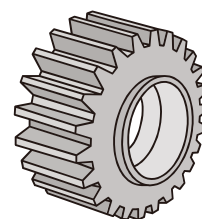
神奈川県ものづくり技術交流会のお知らせ

- < 開催日 > 平成28年10月26日(水) ~28日(金)
- < 会場 > 神奈川県産業技術センター 海老名市下今泉 705-1
- < 発表分野 > 口頭発表・ポスター展示

10月26日(水) ロボット技術、機械設計・加工・材料関連技術、切削加工技術
10月27日(木) 電子デバイス技術、エレクトロニクス実装技術、磁気関連技術
高周波及び電子応用技術、情報・生産システム技術

開催期間中、ロボットやデジタルものづくり関連技術をはじめ、様々な技術分野で開発された新規性を有する技術・製品・試作品、デザインを活用した商品などを展示しています。詳細は神奈川県産業技術センターの神奈川県ものづくり技術交流会のホームページをご確認ください。

https://www.kanagawa-iri.jp/researchresults/exchange_meeting.html



	神奈川県新産学公交流 第74回 サロン横浜	西湘サロン 第65回	海老名サロン 第36回	三浦半島経済人サロン 第72回
日程	11月16日(水) 18:00~20:30	11月14日(月) 18:00~20:00 開場は17:30~	10月14日(金) 15:00~	09月21日(水) 18:00~ 開場は17:30~
場所	横浜市中区尾上町1-6 横浜関内ビルB1	日本生命小田原ビル 4階会議室 小田原市本町1-4-5	神奈川県産業技術セン ター2F 講義室6 海老名市下今泉705-1	神奈川県新聞社 横須賀 支社5階会議室 横須賀市小川町21-9
連絡先	(織方、篠原、坂本、)	イグレン(吉池)	愛 賢司	堀込、芝、鶴野、西澤
内 容	未定 参加費:1,000円	「荒廃した緑道からの脱却」<市民の手で、新しいコンセプトの景観(名所)づくりへ> 天白位刀尾、渋谷恒昭 参加費:1,000円	「人を大切にする経営とは」 イグレン専務理事 芝 忠 会費:2,000円	「魚の知識を教育して店舗をふやしている、事業」紹介。 マグロの西松 柏原宏介専務取締役 参加費:1,000円

尾上町サロン・・・毎月1回、第一金曜日に開催。次回10月07日17:15~19:30 参加費1000円

ざくばらんに語り合う場 会場：中小企業センター703 イグレン事務局

このところ何だか不安定な状況が続いています。身近なところでは北朝鮮の核の問題や中国の対外戦略もあり韓国ではソウルの日本大使館前にある慰安婦像の移設などを検討するなど異例の措置で対日融和を演出することで日米韓の連携を深めていきたいという国家戦略が見えてきます。こういった状況を踏まえ我が国の国防の意識も変わってきました。政府がなんとしても憲法改正に持っていきたい理由がそこにもあります。ただ、戦争を放棄した国が兵力を有する事について海外から見れば自衛隊=軍隊であり「名前が違うだけで何を言っているのだ」という世界では通用しない部分もあることでしょう。難しい問題です。永世中立国として宣言しているスイスは何だか平和なイメージがありますが実は徴兵制もあり軍隊を保有する国でもあります。なんと全国民が避難できる核シェルターも準備されています。本当の意味で自衛隊を宣言するならどこにも加担をしないという永世中立国としての宣言が必要なのかもしれませんね。世界情勢だけでなく、このところの天気も不安定です。傘を忘れず常備しましょう。

「神奈川県イグレンニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって未来へつながる「役立ち情報誌」です。こんなことが新たなビジネスにつながった。とか、思いもしなかった出会いでこんな事になりました・・・など原稿を募集中です。

伺える範囲であれば取材にも参ります。尚、自薦・他薦は問いませんのでご連絡頂ければと思います。

神奈川県イグレンへの連絡問合せは、Tel: 045-228-7331 Fax: 045-228-7331 (TEL 兼用)

ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。 mail masa247307-sowa@dream.bbexcite.jp



神奈川県異業種連携協議会 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】①②③宮川 豊④⑤荒 直孝【火】①②④⑤児玉 英二③愛賢司 【水】①菊地②指方③加藤④愛⑤芝

【木】①②③④⑤ 松井 利夫【金】①愛賢司②指方 順一郎③④⑤織方 【土、日、祭日】は休業

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川県中小企業センタービル7階インキュベーションルーム703号

神奈川県イグレン事務局

T/F 045-228-7331 URL : <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail : iguren@kanagawa-iguren.com